



9月17日

みつい医院	安武町	27-9966
亀尾医院	荒木町	26-5151
よしかいクリニック	花畑	39-4114
新古賀リハビリテーション病院みらい	小都市	73-0011
富田病院	城島町	62-3121
安本病院	三瀬町	64-2032
竹下胃腸科内科医院	田主丸町	0943-72-3007
三原医院	瀬下町	32-2509
福田病院	大川市	0944-87-5757
高木病院	大川市	0944-87-0001
原鶴温泉病院	うきは市	0943-75-3135
ひだか子どもクリニック	南	22-0119
末田眼科医院	瀬野町	35-1231
アルカディアクリニック	宮ノ陣	33-8877
ながお歯科医院	通外町	32-6480
河田産婦人科	梅満町	32-2502

9月18日(祝)

心血医院	日吉町	65-5129
堀川病院	西町	38-1200
宮崎内科循環器内科	野中町	41-0011
安本病院	三瀬町	64-2032
筑後川温泉病院	うきは市	0943-77-7251
猿渡整形外科医院	国分町	21-8866
高木病院	大川市	0944-87-0001
筑後川温泉病院	うきは市	0943-77-7251
長井小児科	天神町	32-2082
小川眼科医院	北野町	41-3701
川口耳鼻咽喉科医院	榎原町	32-2107
大淵歯科医院	大善寺南	26-8371
翁産婦人科医院	瀬野町	46-8181

9月23日(祝)

天神胃腸クリニック	東町	35-4701
高良台リハビリテーション病院	藤光町	51-3838
大善寺医院	大善寺町	27-3851
富田病院	城島町	62-3121
日野医院	田主丸町	0943-72-3027
弥永協立病院	六ツ門町	33-3152
福田病院	大川市	0944-87-5757
安元整形外科	うきは市	0943-73-7311
はるこどもクリニック	新合川	45-8558
長崎眼科クリニック	八女市	0943-22-6123
かみむら耳鼻咽喉科	大牟田市	0944-52-4426
えぐち歯科クリニック	国分町	27-5496
いでウイメンズクリニック	天神町	33-1114

【新型コロナ】

発熱などの症状が出たら
市新型コロナ相談センター 24時間対応
☎0942・30・9750 FAX 0942・30・9833

ワクチン接種に関すること
コールセンター 8時30分～17時30分
☎0120・567・981 FAX 092・712・8285

9月24日

下津浦内科医院	東町	36-0620
渡辺医院	高良内町	43-8570
松尾内科医院	国分町	22-0148
富田病院	城島町	62-3121
安本病院	三瀬町	64-2032
田主丸中央病院	田主丸町	0943-72-2460
出口外科胃腸科医院	山川通分	43-2329
神代病院	北野町	78-3177
高木病院	大川市	0944-87-0001
福田病院	大川市	0944-87-5757
田主丸中央病院	田主丸町	0943-72-2460
吉永小児科	本町	33-2098
大善寺なかしま眼科医院	大善寺町	26-0003
大淵耳鼻咽喉科クリニック	八女市	0943-23-2811
青木歯科医院	瀬下町	32-8764
いづみレディースクリニック	新合川	45-2300

10月1日

文化街診療所	日吉町	33-3903
田中内科クリニック	中央町	32-2655
ツジ胃腸内科医院	国分町	21-1582
富田病院	城島町	62-3121
筑後吉井こころホスピタル	うきは市	0943-75-3165
花畑病院	西町	32-4565
神代病院	北野町	78-3177
矢野医院	三瀬町	65-1235
福田病院	大川市	0944-87-5757
足達消化器科整形外科医院	大川市	0944-88-2688
平田外科診療所	うきは市	0943-75-2065
善導寺こどもクリニック	善導寺町	47-0818
広瀬眼科医院	小都市	72-2721
井之口耳鼻咽喉科医院	莊島町	34-3387
黒岩歯科医院	北野町	78-2516
聖マリア病院	津福本町	35-3322

【子どもの急な病気やケガで心配なとき】

小児救急医療電話相談
受診するか迷ったら、看護師や小児科医師が助言します。
■平日 19時～7時、土曜は 12時から
日曜・祝日は 24時間受け付け
■プッシュ回線・携帯電話#8000 ■☎092・731・4119

久留米広域小児救急センター
夜間の子どもの急病に対応しています。
■毎日 19時～23時。22時30分受付終了
■聖マリア病院 地域医療支援棟 1階



休日当番薬局は久留米三井薬剤師会ホームページへ

シリーズ 今、気づき、じんけん

共に生きる 32

隠さなくていい。
みんなで見守ろう



堀江桃子さん

久留米市キャラバン・メイトとして活動。年間70回以上認知症サポーター養成講座の講師を務める。認知症ケアをする介護事業所も運営

認知症高齢者は令和7年には、全国で700万人を超えと言われています。「認知症サポーター養成講座」の講師であるキャラバン・メイトとして、認知症への理解を深める活動をする堀江桃子さんに話を聞きました。

認知症だから分からないだろう

私が介護や認知症に関わるようになったのは約30年前、夫の祖父母の介護がきっかけです。その頃の介護施設は、おむつを勝手に脱がないようにつなぎ服を着せたり、立ち上がらないよう車椅子に拘束したりしていました。当時はそんな介護ばかり。今では考えられないことです。認知症高齢者には人権も尊厳ありませんでしたね。「認知症だから、何も分からないだろう」という考えが当たり前でした。私は疑問を感じ、介護や認知症について学び始めました。

いつまでも大切な「役割」

介護事業所を運営しながら、平成21年から



「認知症は本当に奥が深い」と語る堀江さん

キャラバン・メイトとして活動していますが、今でも学びの連続です。私の祖母も認知症になり、祖母は「トイレも自分でできなくなって、何の役にも立たん。生きとる意味がなか」と言うのです。心身ともに弱り、介護施設に入りました。そこで洗濯物たたみや野菜の皮むきなどの役割を果たすうちにみるみる元気になって、歩けるまでになりました。数年前に93歳で亡くなるまで「忙しー」とうれしそうに言っていました。認知症になっても役割を持つことは大切だと、改めて気付かされました。

正しい知識を持って見守る

認知症のことを知る人が少しずつ増えていますが、偏見も多いです。近所に知られないよう施設名が入っていない車で送迎してと言われるたり、認知症の家族がいるからとお見合いを断られたりした人もいます。認知症は誰でもなりうる脳の病気。決して恥ずかしいものではありません。隠さなくていい。正しい知識を持ち、認知症高齢者を見守ってほしい。認知症サポーター養成講座は学校や会社、地域で開催されています。まずは認知症を「知る」ところから始めましょう。「隣のおばあちゃん、認知症なんだから。会ったらちょっと声をかけよう」とみんなで言い合える社会を作っていきたいですね。
☎長寿支援課
(☎0942・30・9038、FAX 0942・36・6845)